甘大安处,赤占安处	平成30年度 重点取組							
基本方針•重点方針	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等		
	1 「京都経済センター」(仮称)の整備	適切な工事遂行・進捗管理     ・竣工後の京都経済センター(仮称)機能の検討	はばたけ未来へ!京プラン	・京都経済センター竣工(平成31年1月)、グランドオープン(同年3月) ・平成27年度に取りまとめた8つの機能(※)に基づき、同センター3階に開設したオープンイノベーションカフェを拠点に若手起業家等の交流と協働を促進し、新たなビジネスの創出支援を推進	③中小企業の育成支援, ④産学公連 携の推進, ⑤スマートシティ・ス	産業企画室		
	2 京都館プロジェクト2020	・情報発信力の強化 ・京都館の機能等を検証	はばたけ未来へ!京プラン	・WEBサイトをリニューアルし、首都圏で京都を感じられるイベント情報等を発信(17件) ・京都館閉館後、京都の情報を発信する役割の一部を担ってもらうため、都内に店舗などの拠点を持つ京都ゆかりの企業や大学(11者)に京都館の「のれん分け」を実施 ・京都館の新たな機能を検証するため、首都圏の事業者とコラボ事業等を実施		産業企画室		
	3 京都中小企業担い手確保・定着支援事業	京都市内の中小企業への就職者数: 150人/年	はばたけ未来へ!京プラン	京都市内の中小企業への就職者数: 173人/年		地域企業振興課		
	4 京の企業働き方改革総実践プロジェクト	「京の企業訪問」ウェブサイト上で,働き方改革の取組状況を掲載する企業数:800社	_	「京のまち企業訪問」ウェブサイト上で、働き方改革 の取組状況を発信している企業数:617社		地域企業振興課		
	5 京都・パリ友情盟約締結60周年を契機とし た産業・観光振興	京都知恵ビジネスメッセinPARISへの来場者数: 1,000人	はばたけ未来へ!京プラン	京都知恵ビジネスメッセinPARISへの延べ来場者数: 860人		産業企画室		
	6 中小企業事業承継支援体制の強化	事業承継成約件数:15件	はばたけ未来へ!京プラン	事業承継成約件数:21件		地域企業振興課		
(1) 京都経済の活性化と 質の高い雇用の確保による 確かな経済成長	7 中小企業未来力会議	新事業アイデアの試行実施補助件数:3件	はばたけ未来へ!京プラン	新事業アイデアの試行実施補助件数:8件		地域企業振興課		
	8 「京都×パリ」京ものアート市場開拓事業	京都とパリの職人・アーティストのマッチング: 1 O 組	第3期京都市伝統産業活性化推進計画	・京都とパリの職人・アーティストのマッチング:10 組 ・パリで行われる国際見本市に出展 ・パリ市内のギャラリー及び京都・東京の百貨店で展示販売会を実施		伝統産業課		
	9 京都伝統産業ふれあい館リニューアル事業	<ul><li>実施設計の策定</li><li>工事の着工</li></ul>	第3期京都市伝統産業活性化推進計画	実施設計を策定	工事の着工については、関係者との 協議の結果、令和元年10月に着工予 定	伝統産業課		
	10 京の商人(あきんど)育成塾	取組参加者数:20人	京都市産業戦略ビジョン	取組参加者数:12人		商業振興課		
	11 次世代医療ICT新事業創出推進事業	研究開発プロジェクトの創出: 2件	はばたけ未来へ! 京プラン 京都市ライフイノベーション推進戦 略	は 研究開発プロジェクトの創出:1件		新産業振興室		
	12 MANGAナショナル・センター(仮称)誘致推進事業	マッチングイベント参加者数:300人	はだけ未来へ!京ブラン京都市コンテンツ産業振興に向けた指針	「京都アニメ・ゲーム企業キャリアフォーラム」を開催(出展企業数:16社,参加者数:271人)		新産業振興室		
	13 地域科学技術実証拠点を活用した新事業 創出推進事業	事業化プロジェクトの新規創出: 10件	はばたけ未来へ!京プラン 京都市グリーン産業振興ビジョン	事業化プロジェクトの新規創出:10件		新産業振興室		

甘士亡とし、手上亡と	平成30年度 重点取組						
基本方針•重点方針	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等	
	14 未来の京都の成長・発展を支える学術研究・先端産業等用地の創出	・産業集積のあり方や用地創出に向けた手法等の検討 ・久我の工業専用地域での新たな産業用地の早期創出	はばたけ未来へ!京プラン京都市産業戦略ビジョン	・京都らしい学術研究・先端産業等の産業集積を図るための産業用地創出に係る基本的な方向性について調査・検討を実施・久我の工業専用地域において、まとまった土地を生み出すため、地元説明会、勉強会の開催(3回)等、地権者の合意形成に向けた取組を実施		新産業振興室	
	1 京の竹林再生・魅力発信事業	・市民や新規就農者等の担い手確保による放置竹林の 更なる改善 ・メンマの試作等、竹の新たな利活用の検討	はばたけ未来へ!京プラン	・市民ボランティアによる放置竹林の間伐及び維持管理面積:20,000㎡ ・市民ボランティアの応募者数:21名 ・竹の塾・市民版(啓発イベント)の実施:6回,122名参加 ・竹の塾・農家版(タケノコ栽培に係る通年講座)の 実施:10回,11名参加 ・メンマの商品化に向けた試食会の実施:2回		農林企画課	
	2 新規就農者育成・定住促進(「京都 京北 未来かがやきビジョン」の推進)	温室栽培施設の整備支援	京都 京北未来かがやきビジョン	温室栽培施設の整備支援:1か所		農林企画課	
	3 京の旬野菜推奨事業など農業の振興・啓発	・販売促進キャンペーンの実施 ・児童への農作業体験機会の提供:6か所	京都市農林行政基本方針セカンドステージ	・販売促進キャンベーンの実施(平成31年1月16日〜 2月28日) ・児童への農作業体験機会の提供:7か所		農林企画課	
	4 総合獣害対策事業の推進	・農林作物被害の軽減 ・有害鳥獣の市街地への出没抑制に向けた取組の実施	はばたけ未来へ!京ブラン 京都市農林行政基本方針セカンドス テージ	・農林作物被害の軽減:前年比14%減(被害額: 51,375千円) ・有害鳥獣の市街地出没抑制に向けた取組の実施:防 除ネット3km等		林業振興課	
	5 林道施設長寿命化対策	林道橋の長寿命化に向けた点検及び診断調査の実施	_	・市管理林道施設(林道橋)の点検・診断:19基 ・市が管理する林道施設(林道橋)の長寿命化を図る ため、国が定めるインフラ長寿命化基本計画に基づ き、対象施設の点検・診断を実施し、その結果を反映 させた個別施設計画を策定		林業振興課	
(2) 市民の暮らしや食生活、文化を支える農林業の 活、文化を支える農林業の 振興と中央市場の整備	6 マンガ・アニメ・映画等を活用した市内産 木材普及モデル事業	農商工(林業とコンテンツ産業)連携による木材需要 の拡大	京都市農林行政基本方針セカンドステージ	市内産木材を実際に見て触れることのできる環境の整備(コンテンツ産業と連携した木製調度品(机、椅子、間忙切りほか)を用いた京都マンガミュージアム 内のワークショップスペースの木質化)やSNSの活用 等により利用意義の発信等を実施		林業振興課	
	7 大規模集約型林業モデル事業	モデル地区における森林所有者調査や所有者との管理 協定の締結	京都市農林行政基本方針セカンドステージ	・京都市大規模集約型林業推進協議会を設置(平成30年9月)し、大規模集約型林業モデルの構築に向けた協議を実施(2回開催(平成30年9月・平成31年3月))・モデル地区における森林の集約化に向け、所有者調査等を実施(対象:256名)するとともに、集約型林業の担い手の育成を図るため研修会等を実施(2回開催(平成31年2・3月))		林業振興課	

基本方針・重点方針	平成30年度 重点取組							
	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等		
	8 「中央市場宣言」、「中央食肉市場宣言」 の普及啓発と卸売市場法改正に伴う取引ルールの策定に向けた取組の推進	<ul> <li>各種事業やイベント等における「中央市場宣言」 「中央食肉市場宣言」の周知</li> <li>取引ルールの検討に向けた市場関係者等との協議</li> </ul>	京都市中央卸売市場第一市場マスタープラン(平成28年度版)京都市中央卸売市場第二市場「京ミートマーケット」マスタープラン京都市中央卸売市場業務条例	〈中央市場宣言〉・新たに作成した京都市中央市場のパンフレット(作成部数:6,000部)や魅力を発信するマンガ(発行部数:17,000部)内に宣言を掲載・「京の食文化ミュージアム・あじわい館」館内に宣言のパネルを掲示(平成29年12月~)〈中央食肉市場宣言〉市場見学者への周知(平成30年9月~,167人)や、新施設記念共進会(同年5月)、京都肉祭(同年10月)での周知を実施〈卸売市場法改正〉・第一市場において、卸売市場法改正に伴う取引ルールの策定に向け、「条例改正検討会議(※)」を設置(同年11月,30回以上議論)・第二市場において、市場関係者への意見聴取(平成31年1~2月)を実施するとともに、第二市場取引委員会を開催(同年3月)	業者, 生産者, 小売事業者, 消費者の6部会で構成	中央市場 中央食肉市場		
(2) 市民の暮らしや食生活、文化を支える農林業の振興と中央市場の整備	9 京都市中央市場・中央食肉市場の施設整備	(中央市場) ・水産部門等の仮設移転 ・水産事務所棟解体工事 ・水産事務所棟解体工事 ・花屋町立体駐車場棟建設工事 ・新水産棟整備工事 (中央食内市場) ・整備の完了に向けた工事の着実な推進	京都市中央市場施設整備基本計画京都市中央卸売市場第一市場マスターブラン(平成28年度版)京都市中央卸売市場第二市場「京ミートマーケット」マスターブラン	(中央市場)  ・水産事務所棟解体工事完了(平成30年6月)  ・新水産棟整備工事に着手(同年11月)  ・水産部門等の仮設移転完了(同年12月)  ・花屋町駐車場棟建設工事完了(同年12月) (中央食肉市場)  ・新施設の本格稼働(同年4月)  ・汚水処理施設整備工事の推進		中央市場 中央食肉市場		
	1 観光地における混雑緩和策	案内標識の設置:40箇所	はばたけ未来へ!京プラン	案内標識の設置:52箇所		観光MICE推進室		
	2 地域と連携した観光と市民生活との調和推進事業	日本人及び外国人観光客の残念度について、「残念が あった」と回答された方の割合の前年比減	はばたけ未来へ!京ブラン	<ul> <li>日本人観光客残念度:前年比0.5ポイント増(46.5%, 平成29年度:46.0%)</li> <li>外国人観光客残念度:前年比0.9ポイント増(16.7%, 平成29年度:15.6%)</li> </ul>		観光MICE推進室		
	3 旅館をはじめとする宿泊施設の経営強化・ 魅力発信支援	旅館等の宿泊施設の経営強化・魅力発信支援による利 用の促進	宿泊施設拡充・誘致方針 観光振興計画2020	・宿泊税徴収事務導入セミナー・個別相談会(7回)の開催及び宿泊税徴収事務導入のための専門家派遣・支援の実施・旅館PRマンガの公開、発信(平成31年3月)・宿泊施設従業員向けた歴史・文化体験研修(8回)・旅館における外国人観光客受入促進セミナー(2回)		観光MICE推進室		
	4 京都の温泉観光魅力発信事業	温泉施設の利用者数:1,276,136人(平成29年度実 績)以上	観光振興計画2020	・温泉施設の利用者数:1,146,314人 ・温泉PR動画の制作、公開(平成31年2月) ・温泉ウェブサイトの中国語版(簡体字、繁体字)、 ハングル版の作成、公開(同年1月) ・温泉の魅力を周知する、「京の冬の旅 温泉キャンペーン」の実施(同年1~3月)		観光MICE推進室		
(3) 持続可能で満足度の 高い国際文化観光都市を目 指した観光施策の充実	5 インバウンド需要獲得強化・マナー啓発事業	・市内事業者が行う受入環境整備の支援 ・外国人観光客のマナー向上に向けた啓発の取組強化	観光振興計画2020	・京都市観光協会インパウンド助成金助成件数:64件 ・LCC機内誌等へのマナー啓発記事掲載:約8.5万部		観光MICE推進室		
	6 ユニバーサルツーリズム普及促進事業	講習会の開催(2回)	観光振興計画2020	「LGBTQツーリズムの現状と課題」、「誰もが楽しめ る京都に向けて」をテーマとした講習会の実施(2回 (平成30年12月、39人参加/平成31年2月、31人 参加))		観光MICE推進室		

基本方針・重点方針	平成30年度 重点取組						
	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等	
	7 京都市版DMOの推進(市民生活と観光との調和に向けた取組の推進)	京都市観光協会の機能強化	観光振興計画2020	京都文化交流コンベンションビューローからインバウ ンドプロモーション部門を移管(平成30年4月)		観光MICE推進室	
	8 観光・文化コンテンツの発信力強化事業	・京都の魅力を伝える映像素材の制作と海外メディア 等への提供 ・京都観光オフィシャルサイトの充実	観光振興計画2020	・観光映像制作本数:観光映像素材26本(約1分),PR動画1本(約3分) ・京都観光オフィシャルサイトの充実:国内向けサイトでは利用者が必要な情報を探しやすいよう。ホームベージの情報を整理し、サイト構造やデザインの見直しを行うとともに、民間と連携しながら魅力的なコンテンツ(エリア別、朝・夜観光、文化体験等)の充実や、検索機能・編集機能等を強化・海外向けサイトでは、外国人ライターが制作する記事コンテンツの発信や交通情報の強化等	・観光映像素材:京都の四季、伝統 産業・文化、食文化、寺院神社、ま ちなかなどの様々な京都の魅力を分 けて1分程度の動画にまとめたも の。(主に海外のメディアの番組等 で必要な部分だけを編集して活用) ・PP動画:映像素材を活用し、3分 程度の動画にまとめたもの。(海外 旅行商談会や旅行博等で活用)	観光MICE推進室	
(3) 持続可能で満足度の 高い国際文化観光都市を目 指した観光施策の充実	9 隠れた名所の活用等による観光地分散化	多様なエリアの魅力ある名所や見どころの発信, 観光 客の集中緩和, 新たな京都観光の魅力づくり	観光振興計画2020	「とっておきの京都〜定番とその先へ〜」プロジェクトを立ち上げるなど、観光客を惹きつける潜在力を持つ多様なエリアの魅力ある名所や見どころを発信し、観光地の分散化に寄与		観光MICE推進室	
	10 京都MICEブランド・コンテンツ強化 事業	国際会議の開催件数:前年以上	MICE戦略2020	国際会議の開催件数(ICCA基準):59件(平成29年度:46件)		観光MICE推進室	
	11 民泊プロジェクトチームの取組	安心安全が確保され,地域と調和した「民泊」の推進	はばたけ未来へ!京プラン	・平成30年度から「民泊」専任職員のみで計41名の体制を整備 ・京都府警との連携のもと、京都市「民泊」対策等連絡協議会を設置(平成30年6月) ・民泊地域支援アドバイザーによる地域支援を開始(平成30年8月) ・無許可営業疑いがあると通報のあった2,454施設のうち、99%にあたる2,430施設(平成31年3月末時点)を強力な指導により営業中止等の措置		観光MICE推進室	